

## 糖尿病治療中に水疱性類天疱瘡を発症した高齢 2 型糖尿病症例の臨床的特徴に関する研究

### 1. 研究の対象

2012 年 9 月から 2016 年 9 月に、当院皮膚科にて水疱性類天疱瘡と確定診断された 65 歳以上の 2 型糖尿病患者および非糖尿病高齢患者の方。

### 2. 研究目的・方法

水疱性類天疱瘡を発症し、入院加療を必要とした高齢 2 型糖尿病患者における臨床的特徴を、同時期に水疱性類天疱瘡で入院した非糖尿病患者とを後向きに比較し、DPP-4 阻害薬との関連も含めて検討した。すでに治療を終了した方のカルテ情報を用いて、情報を収集し、経過の違いや特徴の相違を解析した。とりまとめと解析は糖尿病・代謝・内分泌内科で行った。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月、性別、既往歴、使用薬剤、ADL、併存疾患、および臨床経過等。

臨床検査：血液検査、皮膚生検(組織診、免疫染色)等。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

糖尿病・代謝・内分泌内科 内科総括部長 荒木 厚